

「福祉・介護のお仕事」ガイドブックの使用科目の実例

【使用科目の実例】

平成29年度にアンケートを実施し、実際に何の科目でガイドブックを使用したかを集計したものです(回答が多かったものは下線引きしてあります)。

総合的な学習

- ・「福祉について学ぼう」、「福祉について知ろう」
- ・「高齢者への支援」、「高齢者について考えよう」、「認知症サポート教室」、「お年寄りや体の不自由な方と交流し、学ぼう・考えよう・行動しよう」
- ・「将来の仕事について考えてみよう」
- ・「手と心で伝えよう」、「心のドアをノックして」、「手と心をつなごう」、「広げようふれあいの輪」
- ・「障害のある方との交流を通して、ものの見方や考え方を広げよう」、「目や耳の不自由な人の暮らし」
- ・「人にやさしい町づくり」、「だれもが安心して暮らせる街」、「みんなにやさしい街」、「だれもが住みよい町づくり」、「やさしい町に 広がれ！ふれ愛」
- ・「共に生きる」、「共に助け合って生きる」、「ともに生きるために」、「生き方を学ぼう」、「住みよい社会のために」

その他

- ・総合、国語「誰もが関わり合えるように」
- ・総合、道徳「働くことの大切さを知って」
- ・国語「わたしの研究レポート」、「調べたことを整理し、発表しよう」
- ・社会「安全な暮らしを守る」、「わたしたちの生活と政治」
- ・道徳「福祉について考える」、「生命尊重 あなたがもつ生きる力」、「勤労」、「ふしぎなぼくの気持ち 2(2)親切学級で高齢者について話し合う」